

ごみ処理広域化の進捗状況について

前回、6月18日（金）の常任委員会報告分以降、8月27日（金）に開催された、「東播臨海広域ごみ処理連絡会議」において、協議又は報告のあった内容については次のとおりです。

1. 広域ごみ処理連絡部会について

(1) 工事の進捗状況について

別紙 ・ 広域ごみ処理施設建設工事 通信（8月号）

・ 広域ごみ処理施設建設現場の状況について（写真：8月23日（月）に撮影）参照

① 可燃ごみ処理施設

建屋が完成し、内装工事が仕上げの段階となっています。プラント設備については、焼却炉内部の耐火物工事や、炉室機器の保温工事のほか、引き続き電気プラント配管等の工事が行われ、最終確認作業を進めています。

また、ごみ収集車の進入路となるランプウェイの設置作業や外構工事も順調に進められています。

② 不燃・粗大ごみ処理施設

工事は概ね完成し、最終確認作業を行っています。

③ 管理棟・計量棟

管理棟：建屋が完成し、現在は内装工事の仕上げ段階となっています。

計量棟：工事が完了しています。

※ 8月1日（日）より受電開始、8月23日（月）より試運転開始

※ 10月8日（金）に東播臨海広域クリーンセンター（エコクリーンピアはりま）にて火入式の予定

※ 工事全体の進捗率 8月末現在：92%

※ 特に問題もなく、予定どおりの進捗となっています。

(2) 環境モニタリング状況について

敷地境界での毎月の環境測定の結果、これまでと同様に特に大きな問題等はありません。引き続き、粉じん、騒音、振動、地下水について、毎月環境モニタリング測定を実施します。

以上